

★イノベーションの時代(変態脱皮の時)の「人生に五計あり」★

著者：(株) I&C・HosBiz センター
Cap 平本 靖夫

第193号を発信します。2016年07月15日(金)

【タイトル】★イノベーションの時代(変態脱皮の時)の「人生に五計あり」★

9回シリーズ：その6

著者：(株) I&C・HosBiz センター
Captain 平本 靖夫…74 歳(1941 年生まれ)

第6回「死計」・死生観を持って生きる・人間の存在理念とは

■乱読ですが、日本神道や仏教、ギリシャ神話やキリスト教の教えに触れながらも、これらの教えのルーツは同じであり、それが伝わるルートや地域、時代背景や 為政者によって変質させられてきたのではないかと、漠然と感じていました。

この8年間でスピリチュアル系の本を読み進むにつれて、為政者によって変質していったのではないかと、漠然と感じていましたそのことは、確信に変わりました。

来年(2017)には著書にして出版したいと念じています。

今までの世開観が全く変わる、イノベーションの極め付きになることを期待しており、その念をエネルギーに書き進めています。

すでにお気づきと存じますが、私は唯物論者でも無神論者でもなく、善悪二元論者でもなく(弁証法を重く見ているのでもなく)、深く仏神を信じており、**グランドデザイナー(大根源神様)と同じ DNA** を持つ細胞の一つなのだと信じており、その加護の中でその理念を実現するために存在しているのだと観じております。

そして、人間も動物、植物も皆「ワンネス」の世開で生き、生かされているのだと観じています。

◆この地球上での人類の歴史を見ると、戦争・貧困と飢餓・疫病の繰り返しです。

私はそのことを悲しいと思うとともに、まだまだ努力が足りないと反省するのであります。どうしたら無くなるのか。解決するためには自分は何をすべきなのかを、常々考え続けています。何かが根本的に間違っているのですが、やっとその原因を認識できたと思っています。

「真に生きる」とは単に肉体的に存在することではなく、その人が成した仕事で、例えば時代精神となる思想や社会システム、技術や工芸品や芸術等「世のため・人のため」となって地球環境や、人間の尊厳を傷つけない仕事を成した時と思います。

かの、スティーブ・ジョブズの辞世の言葉はそのことを物語っています。

＊ ＊ 9 回目最終回に掲載します ＊ ＊

◆市井人として凡々とした何気ない日々の暮らしであったとしても、人々に「**勇気と希望**」を伝えられた時、空間的にも時間的にも「**真に生きた**」と云えるのではないかと思います。

110311以降、東北や地方での活動を通して、強く観じております。

そうした視点で自分を見てみると、自分の欠点・くせ・迷惑をかけているであろう数々の習慣や行動に対して、直そう直そうと気にしながら、変わらない性格がしっかりと在って、「あゝ、これが**自分なのだ**」と思うようになり、あるがままにワクワクして生きようと思っております。

今回は、長文になりますが後世歴史的な演説と評価されるであろう演説を掲載します。

◆オバマ大統領の広島演説（160527）＊引用。抜粋

71 年前の明るく晴れ渡った朝、空から死神が舞い降り、世界は一変しました。閃光と炎の壁がこの街を破壊し、人類が自らを破滅に導く手段を手にしたことがはっきりと示されたのです。

なぜ私たちはここ、広島に来たのでしょうか？

私たちは、それほど遠くないある過去に恐ろしい力が解き放たれたことに思いをはせるため、ここにやって来ました。

私たちは、10 万人を超える日本の男性、女性、そして子供、数多くの朝鮮の人々、12 人のアメリカ人捕虜を含む死者を悼むため、ここにやって来ました。彼らの魂が、私たちに語りかけています。彼らは、自分たちが一体何者なのか、そして自分たちがどうなったのかを振り返るため、内省するように求めています。

広島だけが際立って戦争という事実ではありません。遺物を見れば、暴力的な衝突は人類の歴史が始まった頃からあったことがわかります。フリント（編注・岩石の一種）から刃を、木から槍を作るようになった私たちの初期の祖先は、それらの道具を狩りのためだけでなく、自分たち人類に対しても使ったのです。

どの大陸でも、文明の歴史は戦争で満ちています。戦争は食糧不足、あるいは富への渴望から引き起こされ、民族主義者の熱狂や宗教的な熱意でやむなく起きてしまいます。

多くの帝国が勃興と衰退を繰り返しました。多くの人間が隷属と解放を繰り返しました。

そして、それぞれの歴史の節目で、罪のない多くの人たちが、数えきれないほどの犠牲者を生んだこと、そして時が経つに連れて自分たちの名前が忘れ去られたことに苦しめられました。

広島と長崎で残酷な終焉へと行き着いた第二次世界大戦は、最も裕福で、もっとも強大な国家たちの間で戦われました。そうした国の文明は、世界に大都市と優れた芸術をもたらしました。そうした国の頭脳たちは、正義、調和、真実に関する先進的な思想を持っていました。

にもかかわらず、支配欲あるいは征服欲といった衝動と同じ衝動から、戦争が生まれたのです。そのような衝動が、極めて単純な部族間同士の衝突を引き起こし、新たな能力によって増幅され、新たな制限のないお決まりのパターンを生んでしまったのです。

中略

しかし、この空に立ち上ったキノコ雲の映像を見た時、私たちは人間の中核に矛盾があること

を非常にくっきりとした形で思い起こすのです。私たちの思考、想像力、言語、道具を作る能力、そして人間の本質と切り離して自分たちを定めたり、自分たちの意志に応じてそうした本質を曲げたりする能力といったものを私たちが人類として際立たせること——まさにそうしたことも類を見ない破滅をもたらすような能力を私たちに与えられることによって、どれだけ悲劇をもたらす誘発剤となってしまうか。

物質的な進歩、あるいは社会的な革新によって、どれだけ私たちはこうした真実が見えなくなってしまうのか。より高い信念という名の下、どれだけ安易に私たちは暴力を正当化してしまうようになるのか。どの偉大な宗教も、愛や平和、正義への道を約束します。

にもかかわらず、信仰こそ殺人許可証であると主張する信者たちから免れられないのです。国家は犠牲と協力で人々が団結するストーリーをこしらえ、優れた功績を認めるようになります。しかし、自分たちとは違う人々を抑圧し、人間性を奪うため、こうしたものと同様のストーリーが頻繁に利用されたのです。

科学によって、私たちは海を越えて交信したり雲の上を飛行したりできるようになり、あるいは病気を治したり宇宙を理解したりすることができるようになりました。

しかし一方で、そうした発見はより効率的な殺人マシンへと変貌しうるのはです。現代の戦争が、こうした現実を教えてください。広島が、こうした現実を教えてください。

技術の進歩が、人間社会に同等の進歩をもたらさないのなら、私たち人間に破滅をもたらすこともあります。原子の分裂へとつながった科学的な変革には、道徳的な変革も求められます。

だからこそ、私たちはこの場所に来るのです。

中略

私たちは、声なき叫び声に耳を傾けます。私たちは、あの悲惨な戦争が、それ以前に起きた戦争が、それ以後に起きた戦争が進展していく中で殺されたすべての罪なき人々を追悼します。

中略

いつの日か、証言する被爆者の声が私たちのもとに届かなくなるでしょう。

しかし、1945年8月6日の朝の記憶を決して薄れさせてはなりません。その記憶があれば、私たちは現状肯定と戦えるのです。その記憶があれば、私たちの道徳的な想像力をかき立てるのです。その記憶があれば、変化できるのです。

あの運命の日以来、私たちは自らに希望をもたらす選択をしてきました。アメリカと日本は同盟関係だけでなく、友好関係を構築しました。それは私たち人間が戦争を通じて獲得しうるものよりも、はるかに多くのものを勝ち取ったのです。

ヨーロッパ各国は、戦場を交易と民主主義の結びつきを深める場に置き換える連合を構築しました。抑圧された人々と国々は解放を勝ち取りました。国際社会は戦争を防ぎ、核兵器の存在を制限し、縮小し、究極的には廃絶するために機能する組織と条約をつくりました。それでもなお、世界中で目にするあらゆる国家間の侵略行為、あらゆるテロ、そして腐敗と残虐行為、そして抑圧は、私たちのやることに終わりが無いことを示しています。

私たちは、人間が邪悪な行いをする能力を根絶することはできないかもしれません。

だから、国家や私たちが構築した同盟は、自らを守る手段を持たなければなりません。

しかし、私の国のように核を保有する国々は、勇気を持って恐怖の論理から逃れ、核兵器なき世界を追求しなければなりません。

私が生きている間にこの目的は達成できないかもしれません。しかし、その可能性を追い求めていきたいと思います。このような破壊をもたらすような核兵器の保有を減らし、この「死の道具」が狂信的な者たちに渡らないようにしなくてはなりません。

それだけでは十分ではありません。世界では、原始的な道具であっても、非常に大きな破壊をもたらすことがあります。私たちの心を変えなくてはなりません。戦争に対する考え方を変える

必要があります。紛争を外交的手段で解決することが必要です。

紛争を終わらせる努力をしなければなりません。

平和的な協力をしていくことが重要です。暴力的な競争をするべきではありません。

私たちは、築きあげていかなければなりません。破壊をしてはならないのです。

なによりも、私たちは互いのつながりを再び認識する必要があります。同じ人類の一員としての繋がりを再び確認する必要があります。つながりこそが人類を独自のものにしています。

私たち人類は、過去で過ちを犯しましたが、その過去から学ぶことができます。選択をすることができます。子供達に対して、別の道もあるのだと語ることができます。

人類の共通性、戦争が起こらない世界、残虐性を容易く受け入れない世界を作っていくことができます。物語は、被爆者の方たちが語ってくださっています。原爆を落としたパイロットに会った女性がいました。殺されたそのアメリカ人の家族に会った人たちもいました。アメリカの犠牲も、日本の犠牲も、同じ意味を持っています

アメリカという国の物語は、簡単な言葉で始まります。すべての人類は平等である。そして、生まれもった権利がある。生命の自由、幸福を希求する権利です。しかし、それを現実のものとするのはアメリカ国内であっても、アメリカ人であっても決して簡単ではありません。

しかしその物語は、真実であるということが非常に重要です。努力を怠ってはならない理想であり、すべての国に必要なものです。すべての人がやっていくべきことです。

すべての人命は、かけがえのないものです。私たちは「一つの家族の一部である」という考え方です。これこそが、私たちが伝えていかななくてはならない物語です。

だからこそ私たちは、広島に来たのです。そして、私たちが愛している人たちのことを考えます。たとえば、朝起きてすぐの子供達の笑顔、愛する人とのキッチンテーブルを挟んだ優しい触れ合い、両親からの優しい抱擁、そういった素晴らしい瞬間が71年前のこの場所にもあったのだということを考えることができます。

亡くなった方々は、私たちとの全く変わらない人たちです。多くの人々がそういったことが理解できると思います。もはやこれ以上、私たちは戦争を望んでいません。科学をもっと、人生を充実させることに使ってほしいと考えています。

国家や国家のリーダーが選択をするとき、また反省するとき、そのための知恵が広島から得られるでしょう。

世界はこの広島によって一変しました。しかし今日、広島の子供達は平和な日々を生きています。なんと貴重なことでしょうか。この生活は、守る価値があります。それを全ての子供達に広げていく必要があります。この未来こそ、私たちが選択する未来です。

未来において広島と長崎は、核戦争の夜明けではなく、私たちの道義的な目覚めの地として知られることでしょう。

引用終わり

◆少し長くなりましたが、人類の求めているモノ、そしてGD がとてもシンプルに述べられています。

立場の差により異論もあるかと思いますが、この演説の理念に共鳴し経営支援家の立場で取組んでまいります。

*次回は、イノベーション＝変態脱皮とは を述べます

ご質問、ご意見のある方は、以下のメールアドレスでお願いします。

happy@keiei-tokkunshi.jp

***** セミナーのご案内 *****

◆会計事務所向け：

第4回「会計事務所経営 セミナー」のお知らせ

顧問先の収益力・成長力を高めて **顧問料 UP を実現！**
経営支援家とコラボして、**新規税務顧問先を開拓する！**

- ・日時 2016年08月05日（金） 14：30～17：00
- ・場所 JR京浜東北線、地下鉄南北線 王子駅 北とぴあ （901号室）
- ・参加費 1,000円（マイバッグ・手引き書、教材付）

ご案内は、以下のURLを参照ください。
（CTRL キーを押しながら左クリック）

http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_98.pdf

=====

◆会計事務所向け：

「会計事務所経営 セミナー」：第5回以降のお知らせ

- ・場所 （5回）JR京浜東北線、地下鉄南北線 王子駅 北とぴあ または
（6,7,8回）東京メトロ 日比谷線/茅場町/5番出口 中団連（全国中小企業会館 4F）
- ・参加費 1,000円（マイバッグ・手引き書、教材付）

ご案内は、後日掲載します。11、12月の開催日が変更になっています。

- 1）第5回：2016年09月09日（金） 14：30～17：00 北とぴあ（JR王子）
- 2）第6回：2016年10月07日（金） 14：30～17：00 中団連会議室（茅場町）
- 3）第7回：2016年11月10日（木） 14：30～17：00 中団連会議室（茅場町）
- 4）第8回：2016年12月06日（火） 14：30～17：00 中団連会議室（茅場町）

.....

「かかりつけ医インターン養成講座 説明会」のお知らせ（参加 無料）

この養成講座は、6回コースで9/27、10/11、11/18、22、
12/13。いずれも火曜日の10：00～16：00で開催します。
開催場所は日比谷線 茅場町駅 歩1分（一社）日本中小企業団体連盟 会議室。
以下の日程で説明会を開催しますので、ご関心のある方はぜひ参加ください。

開催場所 JR山手線、地下鉄南北線 駒込駅 （株）I&C・HosBiz センター

第3回のみ：JR京浜東北線、地下鉄南北線 王子駅 北とぴあ901

- 1) 第2回：2016年07月22日(金) 18:30~20:00
- 2) 第3回：2016年08月05日(金) 16:20~16:50 北とぴあ901
- 3) 第4回：2016年08月23日(金) 18:30~20:00
- 4) 第5回：2016年09月02日(金) 18:30~20:00

◆第51回以降の「トライアルゲーム」◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日程が決まりましたのでお知らせします。

- 1) 第51回 8月19日(金) 13:00~18:00
- 2) 第52回 9月24日(土) 13:00~18:00
- 3) 第53回 10月22日(土) 13:00~18:00
- 4) 第54回 11月26日(土) 13:00~18:00

開催場所「経営特訓道場」

JR 駒込駅南口 徒歩6分

東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

◆経営特訓士資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

次回以降の認定講座は、以下の通り決まりました。

- 1) 10月14日(金)、15日(土) 10:00~18:30

開催場所「経営特訓道場」

JR 駒込駅南口 徒歩6分

東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

◆経営特訓士インストラクター資格認定講座◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

次回以降のインストラクター認定講座は、以下の通り決まりました。

- 1) 8月20日(土) 10:00~18:30
- 2) 11月11日(金) 10:00~18:30

開催場所「経営特訓道場」

JR 駒込駅南口 徒歩6分

東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

=====

◆◆はやぶさ 3 周年・感謝キャンペーン◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

お蔭さまにて 3 周年・皆様のご愛読に感謝いたしております。

マイナンバー元年のお年玉 ★手引書・無料プレゼントのご案内★

本年 1 月 1 日より、マイナンバー制度の運用が始まりました。

皆様、現場に展開しておりますか？

ご愛読者の皆様への感謝としまして。「無料」で進呈します。

手順通りやれば誰にでもできる

マイナンバー制度導入運用手引書 定価：1000 円＊無料進呈

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・始業／終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016 年に実施する課題の準備をする（現法令の場合）
- 8) 付表 MyNa 問診シート

＊お申込みは下記のメールアドレス宛に、
「お名前、社名、所属部署、〒・住所（必須）、URL（ある場合）」を
ご記入の上、メールしてください。

happy@keiei-tokkunshi.jp

◆クロネコ DM 便でお送りします◆

=====

◆経営相談は

http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAX ください。

FAX : 03-5832-9404

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

<https://1lejend.com/stepmail/delf.php?no=300444>